

村田勤 むらた つとむ 漫應二年伊勢國生れ（一八六一）。號素軒、素軒子、素軒
學人、素軒逸史、素軒逸士。

著譯書 『路錫』（内題「マルチンルーテル」明治二十二年十一月）『千
石博文館』、『ルーテル傳』（明治二十年十一月十四日警醒社書店）、

『古今仁人傳』（明治二十一年十一月十八日警醒社書店）、エミール

・ライヒ著 『近世歐羅巴の基礎』（明治四十二年六月十日大日本文明

協會）、『クリミア大使 ナイチンゲール』（内題「クリミア大使 フロレンス・

ナイチンゲール」明治四十二年九月十日警醒社書店）、『慈愛之淚』

（藤田寛太郎共編、明治四十二年十二月二十一日京新尚會）、『慈愛

之淚』（編、大正九年十一月二十八日警醒社書店）、『我子の思ひ出』

（内題「我が子の思出」編、大正十四年五月二十五日警醒社書店）、

『江原素之八先生傳』（昭和十年十一月二十五日、新版・十五年十二月

二十日三省堂）、『子を喪へる親の心』（鈴木龍司共編、昭和十二年

二月十日岩波書店）等。

